

電気電子工学委員会 URSI分科会
エレクトロニクス・フォトンクス小委員会
(第26期・第2回)

議 事 要 旨

1. 日 時 令和7年9月3日(火) 13:00～14:08
2. 会 場 オンライン開催 (Zoom)
3. 出 席 國分、赤羽、伊藤、尾辻、川西、木村、熊本、篠原、戸田、永妻、藤原、寶迫、菅野 (敬称略) (13/18)
4. 議 題
 - (1) 挨拶
 - (2) 出欠確認
 - (3) 第1回D小委員会議事要旨確認
 - (4) URSI AP-RASC2025開催報告
 - (5) URSI GASS2026の準備について
 - (6) 次期URSI期間(2026-2028)におけるVC、ECR候補について
 - (7) URSI分科会 電波資源利用ハーモナイゼーション小委員会への委員推薦について
 - (8) その他
5. 配布資料
 - 資料26-2-1 第1回D小委員会議事要旨
 - 資料26-2-2 URSI Commission D Board構成
 - 資料26-2-3 AP-RASC2025報告
 - 資料26-2-4 GASS2026 Session案
 - 資料26-2-5 「電波資源利用ハーモナイゼーション小委員会」について
 - 資料26-2-6 第26期エレクトロニクス・フォトンクス小委員会委員メールリスト
6. 議事
 - (1) 挨拶
菅野委員長より開会の挨拶がなされた。
 - (2) 出欠確認
出席委員の確認で18名中13名の参加が認められ、委員会の成立が確認された。
 - (3) 第1回D小委員会議事要旨確認
令和6年8月27日開催の第1回委員会の議事要旨について内容が確認された。
 - (4) URSI AP-RASC2025開催報告
資料26-2-3に基づき、令和7年8月17日～22日にオーストラリア・シドニーで開催されたAP-RASC2025および同会期内に開催されたURSI Commission D Coordinating Activities (CCA) Meetingでの報告内容について説明がなされた。論文数および参加登

録者数は従来会議と同程度であり、Commission Dの科学セッションについても同等程度であったことが報告された。

(5) GASS2026 Session案

資料26-2-3および資料26-2-4に基づき、令和8年8月15日～22日開催予定のURSI GASS2026のCommission Dセッション構成案について議論した。尾辻委員よりテラヘルツ関連セッションコンビナ候補としてGASS開催地の研究者を軸に調整することが合意された。他のセッション、コンビナ案を9月後半を目処に菅野委員長まで連絡することが確認された。

(6) 次期URSI期間(2026-2028)におけるVC、ECR候補について

資料26-2-1に基づき、現在のCommission D Board memberと任期について説明がなされた。現ECRがマイクロ波系、現Vice Chairが光系であるため、次期ECR候補の分野バランスを鑑みて日本から擁立を目指す旨合意がなされた。申請〆切は通例2月末となるため、12月目処で候補者等の調整を行うことが確認された。

(7) URSI分科会 電波資源利用ハーモナイゼーション小委員会への委員推薦について

資料26-2-5に基づき、URSI分科会内に新規で立ち上げる小委員会の説明がなされ、小委員会への本D小委員会からの委員推薦依頼について議論した。本D小委員会は商業活動に近い、標準化・規格化等の観点から委員を推薦することとし、菅野委員長、寶迫委員、川西委員を委員候補として推薦することとした。追加候補については2週間を目処で委員長まで連絡することで合意された。

(8) その他

篠原委員より、IEEE AP-S/URSI 2027会議の京都開催(2027年6月)の紹介がされた。また、URSI Awardについて、例年8月頃〆切であるため、D小委員会として推薦することも検討してほしい旨依頼がなされ、次回JRSM2026のタイミングでの委員会での議論とすることとした。

以上